

事業名：文化振興奨励事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	04 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造								
基本事業	01 自主的市民文化・芸術活動の育成・支援								
開始年度	平成13年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
対象の個人・団体に対し、全国大会等出場奨励金を支給する。 ※個人：10,000円以内 ※団体：100,000円以内（10人未満の団体は、出場者数に10,000円を乗じた額以内の額） ※個人～本市に在住していること（就学以前の者を除く）。 ※団体～本市に主たる活動の場を有し、かつ、その構成員の8割以上が本市在住の市民により組織されていること（就学以前の者を除く）。 ・江別市芸術文化大会・コンクール出場奨励金支給要綱に基づき、各種芸術文化大会・コンクールに北海道を代表して出場する者に対し、芸術文化大会・コンクール出場奨励金を支給する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
奨励金を支給することにより、活動を行う個人や団体のさらなる意欲の向上を図る。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市民	人	121,705	121,385	120,802	120,802
対象指標2						
活動指標1	奨励金支給個人数	人	8	12	7	4
活動指標2	奨励金支給団体数	団体	1	2	1	2
成果指標1	入賞個人数	人	2	2	0	4
成果指標2	入賞団体数	団体	0	2	1	2
事業費(A)		千円	180	320	170	240
正職員人件費(B)		千円	401	401	391	391
総事業費(A+B)		千円	581	721	561	631

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> 各種文化活動において全国大会に出場する個人や団体に対し、奨励金を支給する。 個人：10,000円以内 本市に在住していること（就学以前の者を除く）。 団体：100,000円以内（10人未満の団体は、出場者数に10,000円を乗じた額以内の額） 本市に主たる活動の場を有し、かつ、その構成員の8割以上が本市在住の市民により構成されていること（就学以前の者を除く）。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国大会出場奨励金 170千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
<p>本事業は、各種文化活動において優秀な成績をおさめ、全国大会に出場する個人や団体に対する奨励制度を設けるため、「江別市スポーツ大会出場奨励金支給要綱」にならない平成13年度より制定された、「江別市芸術文化大会・コンクール出場奨励金支給要綱」に基づき運用されている。</p>	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
各種芸術文化大会及びコンクールに、江別市（北海道）を代表して出場する個人・団体に対する奨励金の支給が目的であるので、妥当である。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
活動を行う個人や団体のさらなる意欲の向上を図るものである。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
奨励金を支給した団体のうち、例年3件程度は上位入賞を果たしている。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
奨励金の支給によって、活動を行う個人や団体の意欲が向上し、入賞件数の増加につながることを望ましい。	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
個人や団体の活動に対する奨励金の支給であるため、受益者負担の発想はなじまない。	